

## 感染レベルによる授業形態と対応方法（愛知工科大学）

愛知工科大学での感染レベルによる授業の形態ならびに対応について、5月、6月以降について以下のように行います。  
 なお、感染学生に保健所が指示した日数または10日間程度を目安として自宅待機させた期間は公欠とします。また、家族が感染し、濃厚接触者と判断された場合も、保健所が感染していないと判定されるまでの期間は公欠とします。

1年生については、3学科混成授業があることから、他学年とは区別した対応とします。

## 【5月末までの対応】

| レベル | 感染状況  | 1年生                        |                        | 2学年以上                     |                         |
|-----|---|----------------------------|------------------------|---------------------------|-------------------------|
|     |   | 講義系                        | 実験・実習系                 | 講義系                       | 実験・実習系                  |
| 4   | 学内感染者が過去2週間で累積6名になった場合                      | 全学全科目を遠隔授業に移行（実験・実習は休講も含む） |                        |                           |                         |
| 3   | 学内の濃厚接触者への感染（陽性）が判明                         | 全学科1年生<br>科目を2週間<br>休講     | 全学科1年生<br>科目を2週間<br>休講 | 当該学科学年<br>の科目を2週間<br>遠隔授業 | 当該学科学年<br>の科目を2週間<br>休講 |
| 2   | 学内に複数の感染経路が不明の感染者が判明<br>または、<br>学内に濃厚接触者が判明 | 全学科1年生<br>科目を1週間<br>休講     | 全学科1年生<br>科目を1週間<br>休講 | 当該学科学年<br>科目を1週間<br>遠隔授業  | 当該学科学年<br>科目を1週間<br>休講  |
| 1   | 学内感染者の感染経路が同定でき、<br>かつ、学内の濃厚接触者がいない。        | 対面授業                       | 対面授業                   | 対面授業                      | 対面授業                    |

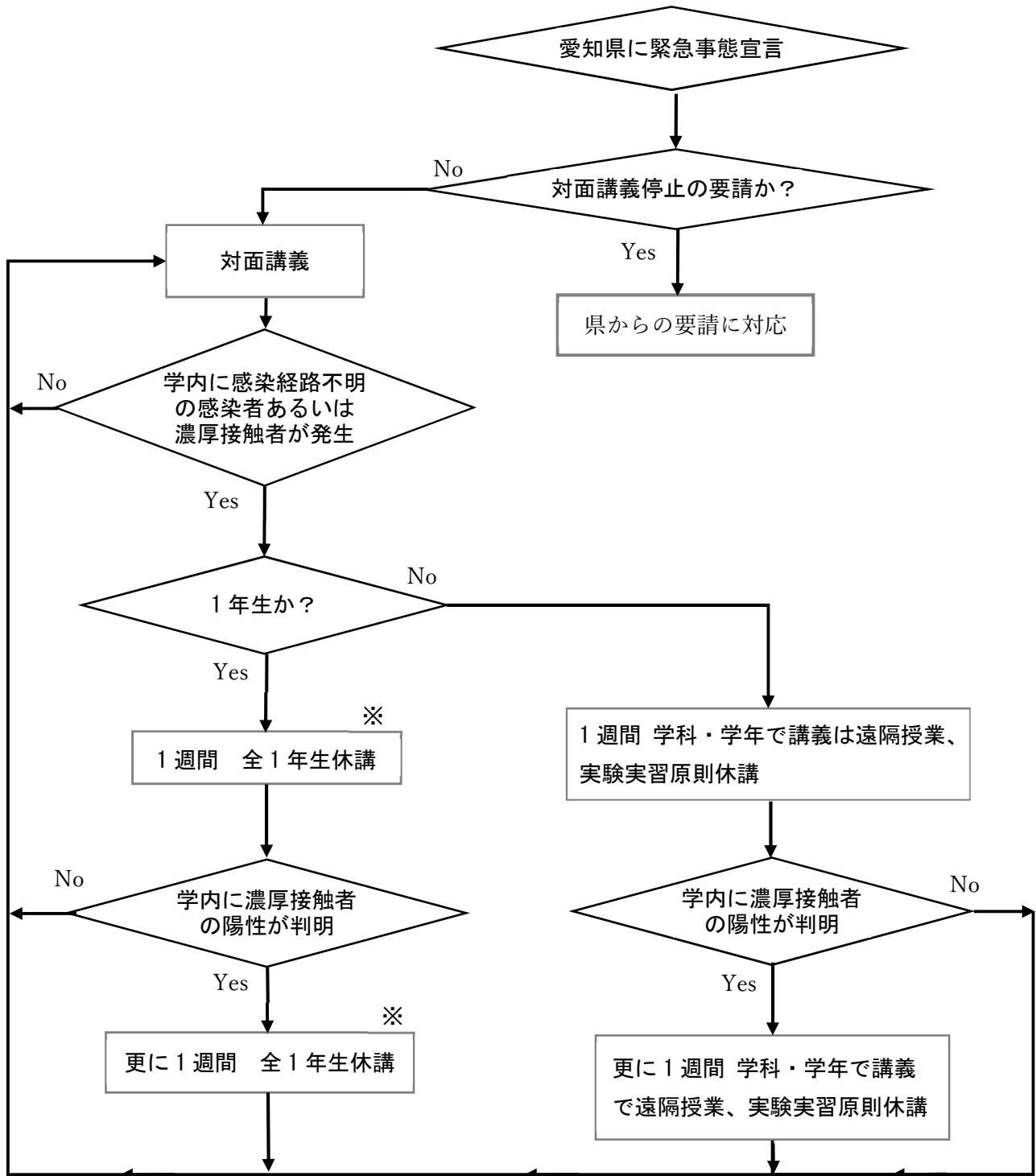
☆レベル3における2週間には、レベル2での1週間を含む。

## 【6月以降の対応（愛知県緊急事態宣言が延長された場合も含む）】

| レベル | 感染状況  | 1年生                        |                        | 2学年以上                    |                        |
|-----|---|----------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|
|     |   | 講義系                        | 実験・実習系                 | 講義系                      | 実験・実習系                 |
| 4   | 学内感染者が過去2週間で累積6名になった場合                      | 全学全科目を遠隔授業に移行（実験・実習は休講も含む） |                        |                          |                        |
| 3   | 学内の濃厚接触者への感染（陽性）が判明                         | 全学科1年生<br>科目を2週間<br>遠隔授業   | 全学科1年生<br>科目を2週間<br>休講 | 当該学科学年<br>科目を2週間<br>遠隔授業 | 当該学科学年<br>科目を2週間<br>休講 |
| 2   | 学内に複数の感染経路が不明の感染者が判明<br>または、<br>学内に濃厚接触者が判明 | 全学科1年生<br>科目を1週間<br>遠隔授業   | 全学科1年生<br>科目を1週間<br>休講 | 当該学科学年<br>科目を1週間<br>遠隔授業 | 当該学科学年<br>科目を1週間<br>休講 |
| 1   | 学内感染者の感染経路が同定でき、<br>かつ、学内の濃厚接触者がいない。        | 対面授業                       | 対面授業                   | 対面授業                     | 対面授業                   |

☆レベル3における2週間には、レベル2での1週間を含む。

◆学内において感染者が出た場合の対応フロー（愛知工科大学）



※ 6月以降（緊急事態宣言が延長の場合を含む）は休講ではなく、原則的に講義は遠隔授業、実験・実習は原則休講に移行する。

補足事項

- ・学内に感染者がいる場合に関する対応として、家族あるいは友人が感染して学生自身が濃厚接触者である場合は、10日間程度を目安として自宅待機させ、公欠扱いとする。
- ・2学年以上における学科横断科目は、当該学年の全学科において遠隔授業（実験・実習は原則休講）